

北東アジアにおける都市・城郭遺跡

ーモンゴル・ロシアの草原・森林地帯の発掘現場からー

講師：臼杵 勲(札幌学院大学)

申込不要・入場無料

モンゴル・ハルビラー川1遺跡

オリエントや中国など初期文明を生み出した**農耕地帯**においては、都市・城郭の出現と国家の成立は強く関連付けられてきました。一方、近年、モンゴル・ロシア極東などの北東アジアの**草原・森林地帯**にも、古代・中世の**都市・城郭遺跡**の存在が確認されるようになり、高い農業生産力が想定されない地域における都市・城郭の機能や意義、さらには古代国家モデルについても検討する必要があります。

ここでは、モンゴルなどとの共同調査等で新しく発見した**草原・森林地帯**の都市・城郭遺跡を紹介しながら、中国・日本などの東アジアの都市遺跡と比較しつつ、**北東アジアの都市・城郭遺跡**の評価を考えてみます。

日時：2024年2月17日(土)

13:30~15:00

場所：愛媛大学城北キャンパス

共通講義棟 B 1階 CRI-1 教室

(正門から入って左手すぐの講義棟)

【講師紹介】札幌学院大学人文学部教授。専門は北東アジア考古学。1959年生。筑波大学大学院単位取得退学。奈良文化財研究所、文化庁を経て、札幌学院大学。2006年より現職。

主な編著書：『鉄器時代の東北アジア』(同成社、2004)、『中世東アジアの周縁世界』(同成社 2009)、『東アジアの中世城郭 女真の山城と平城』(吉川弘文館、2015)、『金・女真の歴史とユーラシア東方』(勉誠出版、2019)ほか多数。

ロシア スモリヤニノフスコエ城址の城壁



ロシア ラゾ城址の城壁



モンゴル オーシキン・ウブル遺跡の鹿石と臼杵氏



愛媛大学アジア古代産業考古学研究センター

〒790-8577 松山市文京町3番 HP: <http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/>

Email: kotetsuAIC@gmail.com